



子どもから大人まで 自分らしく輝き 認め合う社会へ

## 第38回

# 豊橋男女共生フェスティバル

## 報告書

令和7年1月19日（日）

### 第38回豊橋男女共生フェスティバルを終えて

第38回豊橋男女共生フェスティバル実行委員会 実行委員長 藤城 ひろみ

第38回男女共生フェスティバルは、たいへん多くの方々にご来場いただき、無事に開催することができました。

今回は、元朝日新聞記者の稲垣えみ子さんに「自分で決める幸せのカタチ」と題して講演をしていただきました。原発事故後に始めた超節電生活を垣間見ながら、カネとモノへの執着がなく、「質素」を好む生活、「持たないこと」で生活は豊かに、面白く、幸福になり、自分でも気づかなかった内なる力が次々に表に出てくるように感じているそうです。ノーメイクで飾らない稲垣えみ子さんの講演は大変好評で、来場者の反響もよく、満足度が高かったようです。

「子どもから大人まで 自分らしく輝き 認め合う社会へ」をテーマに開催したフェスティバルを通して「自分らしさとは」「自分はどう生きたいか」を改めて考える機会をいただきました。

オープニングでは、「豊橋マリンバの会」による素晴らしい演奏、午後には、分科会、ふれあいコンサート、手作りバザー等、様々な企画が催され、楽しんでいただきました。

今回は、なんでも皆で決めようと講師の選定にも数回話し合いを重ね、例年よりも時間をかけて企画検討を進めましたが、フェスティバルを盛り上げるためにご協力いただきました皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 開会式

「豊橋マリンバの会」の皆さんによる、温かな音色のマリンバ演奏でスタートしました。

長坂尚登豊橋市長からは、「豊橋を、市民ひとり一人が、性別や思い込みに捉われず、夢や希望に向かい、個性や能力を発揮でき、いきいきと暮らすことのできるまちにしたい。講演から自分らしい活躍のきっかけを得られるのではないかと期待している」と挨拶がありました。



## 講演会

### 自分で決める 幸せのカタチ



講師

**稲垣 えみ子さん**

元朝日新聞記者

一橋大学卒業後、朝日新聞社に入社。大阪本社社会部、週刊朝日編集部などを経て、論説委員、編集委員を務め、50歳で退社。東日本大震災を機に始めた超節電生活を綴ったコラムが話題となり、「報道ステーション」「情熱大陸」等にも出演。

●著書

「シン・ファイヤー」「家事か地獄か」「老後とピアノ」「一人飲みで生きていく」「人生はどこでもドア」「アフロえみ子の四季の食卓」「もうレシピ本はいらない」「寂しい生活」「魂の退社」「アフロ記者」など

50歳で朝日新聞社を退社、夫なし、子なし、冷蔵庫なしの「ハッピーに閉じていく人生」を模索中。早期退職&節電生活がもたらした、希望にあふれる日々の出来事から、人とのふれあい、新たなチャレンジなどを軽快に語っていただきました。

“もの”がないことで豊かな生活が送れる考え方や、世間一般の幸せにとらわれない自分らしい生き方や人とのかかわりの大切さについて学びました。

## 催しと活動発表

### 【分科会】

不登校・発達障害・子育て困ったしゃべり場  
企画：新日本婦人の会豊橋支部



絵本でティータイム  
企画：わっぱの会



ふれあいコンサート  
企画：ハッピーグループ



多世代 de 遊ぶ！まんまりズム  
企画：NPO まんま



琴で“さくら”を弾こう  
企画：箏曲蘭友会



手織り機にふれてみよう！！  
企画：農村輝きネット・東三河



# 催しと活動発表

## ライフアップセミナー

もしかして、これってただの思い込み？  
～アンコンシャスバイアスについて考えよう～  
企画：豊橋市 市民協働推進課



## 個別おしごと相談

企画：ママ・ジョブ・あいち



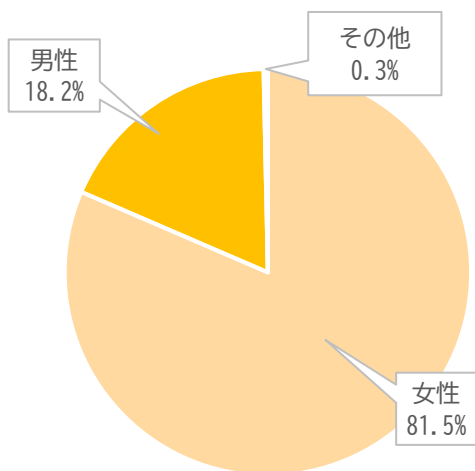
## バザー

企画：豊橋おやこ劇場協議会、(公社)豊橋市シルバー人材センター 綺羅の会、SIMONEKO、箏曲 蘭友会、えだまめの会、社会福祉法人豊生ら・ばるか、NPO法人手しごと屋豊橋

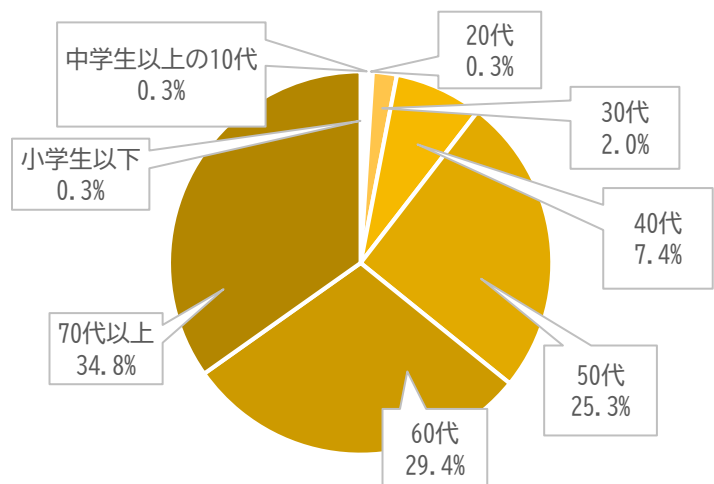


# 講演会アンケート結果

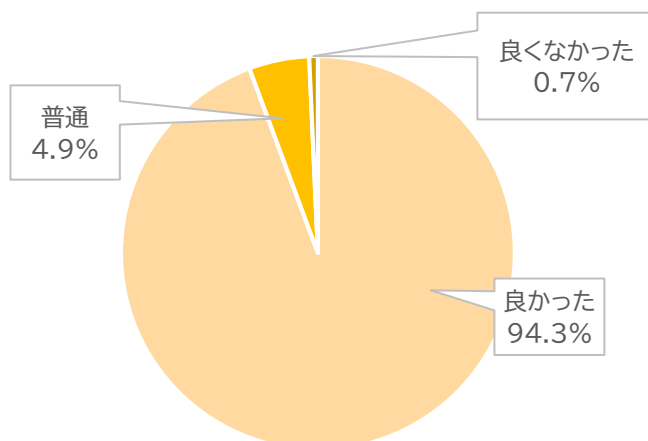
## 性別 (回答数：297)



## 年齢 (回答数：296)



## 感想 (回答数：283)



## 講演会アンケート結果

### 講演会に参加された方の声

- ・ 自分の生き方は自分で選べるんだという当たり前のことが改めて気づかされました。
- ・ 自分がこう生きたいと思っていたことを、具体的に実践している例が聞けました。想像よりもさらに幸せに生きていらっしやり、勇気がもらえました。
- ・ 今幸せだということがひしひし伝わってきました。物に溢れ出す生活が当たり前のよ  
うな現代の考えを少しでも変えると、人間らしく生きることができると思いました。  
知恵、アイデアがあふれ出るものだと、一つでも私も参考にできたらと思います。
- ・ いろいろなものの考え方を変えると価値観が変わり自分らしく生きられると思いま  
した。良いお話を聞かせていただきありがとうございました。
- ・ 考え方ひとつで物事が変わることに、また実行することによって新たな世界が生まれ、  
楽しい生活ができることに気づきました。



## 第 38 回豊橋男女共生フェスティバル実行委員会

### <実行委員会所属団体>

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、  
ハッピーグループ、豊橋商工会議所女性会、マザーズサポートきらら、豊橋マリンバの会、  
(公社) 豊橋市シルバー人材センター綺羅の会、SIMONEKO、箏曲蘭友会、農村輝きネット・東三河、  
NPOとよはしCAP、えだまめの会、NPOまんま、社会福祉法人 豊生ら・ばるか、NPO法人 手しごと屋豊橋  
全 18 団体

発行：豊橋男女共生フェスティバル実行委員会・豊橋市  
〒440-8501 豊橋市今橋町 1 豊橋市 市民協働推進課  
電話 0532-51-2188/FAX 0532-56-5128

(令和 7 年 2 月発行)